

基本方針3 信頼される教育環境の実現

58	<p>目標 活力と魅力ある学校づくり</p> <p>事業名、数値目標実績 ○「中高一貫教育」の全県展開 ○「中高一貫教育」の全県展開</p> <p>教育改革課</p>	<p>事業目的 「中等教育の一層の多様化」を推進し、「生徒一人ひとりの個性」をより重視した教育の実現</p> <p>取組状況 平成22年4月に富岡東高校の併設型中高一貫教育校としての富岡東中学校を開設した。城ノ内中学校・高校は、「探求教学」の開設、川島中学校・高校は中高生間の対話集会、富岡東中学校・高校は、朝夕の富東タイムの設定等、各校が、中高一貫教育の特性を生かした教育に取り組んでいる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 富岡東中学校の開設により、県南地域における生徒や保護者に対する中学教育の選択機会の充実を図るとともに、先行する2校においては、「実用英語技能検定」をはじめとす資格取得や各種コンテストでの全国入賞などについて成果が現れている。</p> <p>今後の取組及び方向性 教育委員会及び学校による連絡協議会を開催し、併設型中高一貫教育の効果や課題を検証するとともに、学校と連携しながら今後の充実・改善に向けた取組みを推進していく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	2	2	2	3			-	3
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
2	2	2	3			-	3											
59	<p>目標 活力と魅力ある学校づくり</p> <p>事業名、数値目標実績 徳島科学技術高等学校の開設 ○徳島科学技術高等学校の設置</p> <p>教育改革課</p>	<p>事業目的 科学技術の高度化・複合化に対応した、産業界の要望に応える技術者の育成</p> <p>取組状況 平成21年4月に徳島科学技術高校を開設した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>準備</td> <td>開校</td> <td>整備・推進</td> <td>整備・推進</td> <td></td> <td>-</td> <td>開校</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 平成21年4月の徳島科学技術高校の開校により、高度情報化などの様々な社会の変化や科学技術の高度化・複合化に対応できる実践力を身につけた人材の育成に努めた。</p> <p>今後の取組及び方向性 引き続き、技術革新や社会の要請に対応しうる実践力を身につけた人材の育成に向けた教育を展開する。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	準備	開校	整備・推進	整備・推進		-	開校
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
-	準備	開校	整備・推進	整備・推進		-	開校											

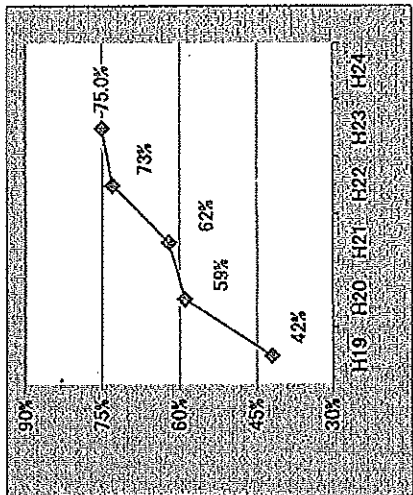
番号	60	事業名、数値目標実績 オンリーワンハイスクールの育成 「地域の教育・文化の創造拠点」としてのオンリーワンハイスクールの育成	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 各学校がこれまでに培ってきた特色ある教育活動や地域との結びつきを生かして、主体的、積極的に、地域貢献を行い、地域の活性化を図り、学校と地域の好循環を促し、「地域の教育・文化の創造拠点」として機能性のあるオンリーワンハイスクールとなるよう、各学校の教育活動を支援する。 県立学校と特別支援学校の高等部を対象に希望校を募集し、書類審査及びプレゼンテーション審査で、実施校8校を選定した。各実施校は、独自の企画による特色ある教育活動を生かし、積極的に地域貢献を進めた。また各実施校は、学校ホームページや新聞等のメディアを活用した情報発信にも積極的に取り組んだ。2月に、実施校が1年間の活動成果を発表する生徒活動発表会（展示及びプレゼンテーション）を開催した。																
取組状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	推進	推進	推進	推進	—	—	推進	実施校は、「魚介類が集まる漁場を守るためのウニの駆除」や「東日本大震災で被災した小学校との現地交流や「さざなみ太鼓」復活のため支援活動」等、独自の計画を実践し、ホームページや学校新聞等で情報を発信しながら、魅力ある学校づくりとともに生徒の学習意欲や勤労意欲の向上などにつなげることができた。ただし、本年度も8年目となり、今までの成果を生かした新たな展開を目指す必要がある。	これまでの地域貢献から、地域が一層よく取り組んでいることに加え、これらリーダーシップをさらに伸ばすことにより、全国的なレベルアップを図るため、これまでの地域貢献を行う学校を育成するとともに、全国に発信できる徳島ならではの取組を行う日本のオンリーワンハイスクールを目指す。
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	推進	推進	推進	推進	—	—	推進												
評価		事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 高等学校がこれまで培ってきた特色ある教育活動や地域との結びつきを生かして、主体的、積極的に、地域貢献を行い、地域の活性化を図り、学校と地域の好循環を促し、「地域の教育・文化の創造拠点」として機能性のあるオンリーワンハイスクールとなるよう、各学校の教育活動を支援する。	事業目的 高等学校がこれまで培ってきた特色ある教育活動や地域との結びつきを生かして、主体的、積極的に、地域貢献を行い、地域の活性化を図り、学校と地域の好循環を促し、「地域の教育・文化の創造拠点」として機能性のあるオンリーワンハイスクールとなるよう、各学校の教育活動を支援する。																
取組状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>71.4%</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	2	5	5	5	5	5	71.4%	7	地域への知恵を活かしながら、県下の7地域で高校再編を進めている。再編計画等を作成した5地域（阿南市地域、吉野川市・阿波市地域、美郷市・つるぎ町地域、勝浦郡地域、那賀町地域）については、開校準備委員会等を設置し、円滑な統合に向けての開校準備、活性化策を進めた。	再編計画等を作成している5地域については、新高校の開校等に向けた準備を着実に進めることができた。残る2地域についても、計画策定した再編計画に基づき、平成24年度中の計画策定に向け、再編計画の骨子（案）をまとめた。
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
2	5	5	5	5	5	71.4%	7												
取組状況	再編計画を策定した5地域のうち再編統合に関わる4地域（阿南市地域、吉野川市・阿波市地域、美郷市・つるぎ町地域、勝浦郡地域）については、開校準備委員会等を設置し、円滑な統合に向けて開校準備を進めるとともに、活性化計画を策定した那賀町地域についても、引き続き活性化に向けた取組を推進する。再編計画が未策定の2地域については、平成24年度中の計画策定をめざす。	事業目的 高等学校がこれまで培ってきた特色ある教育活動や地域との結びつきを生かして、主体的、積極的に、地域貢献を行い、地域の活性化を図り、学校と地域の好循環を促し、「地域の教育・文化の創造拠点」として機能性のあるオンリーワンハイスクールとなるよう、各学校の教育活動を支援する。	今後の取組及び方向性 再編計画を策定した5地域のうち再編統合に関わる4地域（阿南市地域、吉野川市・阿波市地域、美郷市・つるぎ町地域、勝浦郡地域）については、開校準備委員会等を設置し、円滑な統合に向けて開校準備を進めるとともに、活性化計画を策定した那賀町地域についても、引き続き活性化に向けた取組を推進する。再編計画が未策定の2地域については、平成24年度中の計画策定をめざす。																

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性
62	活力と魅力ある学校づくり	高校再編の推進 ○再編計画に基づく新しい学校の設置 H24 鶴島商業高等学校・阿波農業高等学校を統合した吉野川高等学校の開設 H24 鳴門第一高等学校・鳴門工業高等学校を統合した鳴門渦潮高等学校の開設 H26 真光工業高等学校・美馬商業高等学校を統合した新しい高等学校の開設	事業目的 高等学校が将来にわたり多様な教育や部活動を展開していくことにより、魅力ある学校づくりを推進する。	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 平成24年度に開設する鳴門渦潮高校及び吉野川高校では、校歌、校章、及び教育課程、学則などの諸規定を決定した。また、26年度に真光工業高校と美馬商業高校を再編統合して開設する学校では、新高校の制服を決定した。さらに、学校間連携の推進にむけて、「両校生徒の交流学習」、「学校祭等学校行事での連携」、「地域との連携による合同イベント」等を実施した。 開校準備を着実に進めることができた。また、学校間連携事業の実施により、両校教育活動の連携、新高校の地元中学校・住民へのPRが促進された。 平成26年度の新高校開設に向け、校名を決定するとともに、開校準備委員会を中心に「教育環境の整備」、「教育課程の編成」等の検討を進める。
63	活力と魅力ある学校づくり	事業名、数値目標実績 専門教育の活性化 農業・商業教育の活性化プランの策定や中心校を核としたネットワーク化による役割分担と連携強化	事業目的 本県の農業・商業教育の目指すべき方向を明らかにするとともに、農業・商業教育のより一層の活性化を図り、その実現に向けた計画を推進する。	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 平成23年3月に「徳島県農業教育活性化プラン」及び「徳島県商業教育活性化プラン」を策定し、本県農業・商業教育の活性化に向けた取組として6つの方策を掲げ、それぞれの項目についての具体的な推進策に基づき、各農業科・商業科設置高等学校が数値目標を立てて取り組んでいる。 活性化プランの推進策である「スペシャリストの育成を目指す学科の再編」に基づき、24年度からの学科再編を行うとともに、「産学官連携による実践的な農業・商業教育の推進」に基づき、産学官連携による産学教育推進事業を実施した。また、各農業科・商業科設置高等学校は、具体的な活性化策に基づき、農業・商業教育の活性化に向けて取り組んだ。 活性化プランにおける推進策に基づき、農業・商業教育の活性化に向けた各農業科・商業科設置高等学校の計画的な取組を支援する。

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
64	<p>産業界との連携による産業教育の推進 産業界や果の研究機関と連携し、専門教育の充実や異なる学科間での連携</p> <p>活力と魅力ある学校づくり</p>	<p>産業界の要望に対応できる技術者や地域産業を育成する。</p> <p>①農業高校と商業高校が連携し、農業高校の特産物や地域の特産物を活用した商品開発から販売までを実施した。 ②農業高校が徳島の特産品から実験対象を選定し、その安定的な収穫や付加価値が付く栽培研究を、工業高校において製作したLED水耕栽培システムによって行った。 ③専門家から観光ビジネスについて学習し、地域の観光地や産業等を調査し、デジタル観光マップや観光モデルコースを作成した。 ④試験研究機関での研修と企業見学等や、高度熟練技術者による技能研修を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>推進</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23新規</p> <p>産業界や果の研究機関等と連携した教育の展開や、学科の異なる専門高校間の連携で専門分野のさらなる裾野の拡大による教育を行うことができ、産業教育の推進が図られた。</p> <p>引き続き、産学官連携による産業教育の推進を図るため、より主体的・実践的な事業に取り組み。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	-	-	推進	-	-	推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
-	-	-	-	推進	-	-	推進											
65	<p>教育改革課</p> <p>私立学校の振興 私立学校の健全な発達への支援・低所得世帯への修学支援</p> <p>私立学校の振興</p>	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>公教育の一翼を担う私立学校は、それぞれ建学の精神に基づく独自の教育を通じて県民に多様な教育サービスを提供しており、県民が安心して私立学校を選択できるよう、私立学校の経営の安定及び保護者負担の軽減を図る。</p> <p>私立学校の教育条件の維持・向上、修学上の経済的負担の軽減等を目的として、学校の教員等である学校法人に対する私立学校運営費補助を行うとともに、経済的理由により就学が困難な者の負担を軽減し、教育機会均等を確保するため、高等学校等就学支援金を支給するとともに私立高等学校等授業料軽減事業補助を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>支援</td> <td>支援</td> <td>支援</td> <td>支援</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>支援</td> </tr> </tbody> </table> <p>補助事業の実施により、学校法人の運営及び学校設備の充実、教員の資質向上等教育条件の維持向上とともに、生徒の就学機会の確保と保護者の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>引き続き、私立学校の振興と教育条件の向上、修学上の経済的負担の軽減、経営の健全性の向上を支援する。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	支援	支援	支援	支援	-	-	支援
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
-	支援	支援	支援	支援	-	-	支援											
	総務課																	

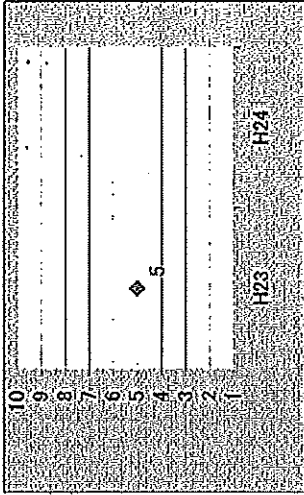
番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
66	<p>私立学校の振興</p> <p>私立学校の特色づくり、魅力アップ、子育て支援と地域貢献促進、情報発信力強化の支援</p>	<p>私立学校の特色づくり、魅力アップ、子育て支援とともに地域貢献を促進し、情報発信力の強化を支援する。</p> <p>私立学校の生命線である「特色づくり」に対する支援として、「輝く私学推進事業」を行い、私立学校の魅力アップや、預かり保育等の子育て支援の充実に取り組み私立学校を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>支援</td> <td>支援</td> <td>支援</td> <td>支援</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>支援</td> </tr> </tbody> </table> <p>「輝く私学推進事業補助金」を通じて、私立高等学校等の個性的で特色ある活動や、私立幼稚園が実施している預かり保育等に対する補助を行うことにより、特色ある教育活動の充実が図られた。</p> <p>私立学校ならではの特色づくり、魅力アップ、延長保育などの子育て支援の充実について、積極的に努力する学校を支援するとともに、本県私立学校教育の認知度を高めるため、情報発信力の強化を支援する。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	支援	支援	支援	支援	—	—	支援
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
—	支援	支援	支援	支援	—	—	支援											
67	<p>私立学校の振興</p> <p>公私立学校間の意思疎通の活性化、連携・機能分担の強化</p>	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>県教育の全体の向上に向けた施策や取り組みが最大の効果を発揮するために、公私立高等学校間の機能分担や連携を強化する。</p> <p>公私立高等学校連絡協議会等を開催し、公私立学校間での情報共有、意見交換を行う等、連携強化に努めた。</p> <p>また、公立高等学校の入試説明会において、私立高校の入試説明を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会 H23.10.11 ・第1回幹事会 H22.6.7 ・第2回幹事会 H22.9.6 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>促進</td> <td>促進</td> <td>促進</td> <td>促進</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>促進</td> </tr> </tbody> </table> <p>公立・私立の関係者がそれぞれの現状や課題について協議することにより、意思疎通、相互理解が図られた。</p> <p>本県高校教育の一層の充実、振興を図るため、公立高等学校連絡協議会等を開催し、公立学校・私立学校の関係者が公私間にある様々な問題について協議し、相互理解と連携調整を図る。</p> <p>公立学校間での機能分担、連携を強化するため、幹事会において公私連携推進策の検討を行い、連携強化の基盤整備を進めていく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	促進	促進	促進	促進	—	—	促進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
—	促進	促進	促進	促進	—	—	促進											

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
68	<p>教職員の資質の向上</p> <p>初任者研修、授業力向上研修、教職5年次研修、10年経験者研修、リーダーシップ養成研修の実施</p>	<p>事業目的</p> <p>教職員のライフステージに応じた研修を体系的・計画的に実施し、「新たな教育課題への対応」や「専門的な知識や技能の習得」をめざすことにより、教職員の資質向上を図る。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <tr> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>達成率</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>継続実施</td> <td>継続実施</td> <td>継続実施</td> <td>継続実施</td> <td>継続実施</td> <td></td> <td>—</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>○初任者研修(幼・小・中・高・特別支援学校の教諭、養護教諭、養護教諭、学校栄養職員)実施 ○授業力向上研修(小・中・高・特別支援学校の教諭、養護教諭)実施 ○教職5年次研修(小・中・高・特別支援学校の教諭、養護教諭)実施 ○10年経験者研修(幼・小・中・高・特別支援学校の教諭、養護教諭、学校栄養職員)実施 ○リーダーシップ養成研修(小・中・高・特別支援学校の主任教諭・指導教諭)実施</p> <p>評価</p> <p>教職員のライフステージに応じた研修課題を明確にするとともに、それぞれの期間に受講する研修に系統性・連続性をもたせることにより、「受講者が目的意識をもった主体的な研修」とすることができた。また、受講者にアンケート調査を実施することにより、更なる研修内容の充実を図った。</p> <p>○教職員が児童生徒と向き合う時間を確保するため、限られた校外研修時間で、より効果的な研修を行う必要がある。</p> <p>○受講者数の増加により、少人数によるきめ細かな指導ができにくくなってきている。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>各研修が、学校現場における教育活動に有効に反映され、児童生徒の学びや育ちに役立つよう、研修内容のさらなる充実を図る。また、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保するため、受講日数の絞り込みやサテライト方式での実施等、効率的・効果的な研修を実施する。</p> <p>これらを踏まえ、引き続き、効果検証、研修方法、研修内容及び研修体系の見直し・改善を実施することにより、教職員の資質の向上に努める。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施		—	推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施		—	推進											
69	<p>事業名、数値目標実績</p> <p>教職員の資質の向上</p> <p>精神科医等による相談事業やメンタルヘルスマネジメント七三十一等の実施</p>	<p>事業目的</p> <p>教職員の悩みや心配事の相談に応じ、その解決策を支援するため専門機関によるカウンセリング等相談や出前講座を実施している。さらに、職員がメンタルヘルスマネジメントに関する知識やスキルを身に付けることができるよう、相談事業を実施している。</p> <p>取組状況</p> <p>平成22年度の教職員相談事業の相談件数は、前年度より38件増加し150件であった。メンタルヘルスマネジメントとして各学校において実施している「教職員相談事業出前講座」は23年度、希望校7校(延べ人数255名)で実施することができた。</p> <p>また、メンタルヘルスマネジメント管理者支援講座においては23年度145名の管理職が研修に参加し、ライオンケアの充実を図っている。公立学校共済組合徳島支部と共催したメンタルヘルスマネジメントセミナー等も多数の参加があった。</p> <table border="1"> <tr> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>達成率</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td>—</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>ベンチマーク等との配布により、メンタルヘルスマネジメント事業が教職員へ浸透しつつあり、メンタルヘルスマネジメントに関する知識やスキルが向上している。また、メンタルヘルスマネジメントに関する知識やスキルが向上している。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>平成24年度も心の病気の予防として、気軽に相談できる体制の周知を図り、出前講座やメンタルヘルスマネジメント管理者支援講座等を実施していく。</p> <p>また、新たに「教職員職場復帰支援事業」として、教職員の職場復帰後のメンタル不調の再発を防止するために臨床心理士を派遣し、復帰者や管理職と面談を行い、具体的な対応への援助を行う。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	推進	推進	推進	推進		—	推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
—	推進	推進	推進	推進		—	推進											

番号	70	事業名、数値目標実績 教職員の資質の向上 特定健康診断・特定保健指導への積極的な対応による教職員の健康の保持増進	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 特定健康診断、特定保健指導は、国民的課題である糖尿病等生活習慣病対策及び医療費抑制等を目的としている。 労働安全衛生法及び学校保健安全法の定める定期健康診断については、受診義務があるため、全教職員が受診するよう各学校に要請し、定期健康診断受診者数及び受診率（県立学校及び事務局職員）は3,123名（99.5%）となった。 平成20年度から開始された40歳以上の特定健康診断においては、定期健康診断のデータを特定健康診査に活用するとともに、各所属と連携し特定保健指導を推進している。																
事業目的			特定健康診査については定期健康診断データを活用し受診率が向上したが、その結果を受けての特定保健指導の実施については、なお事業の周知徹底に努める必要がある。 公立学校共済組合と連携し、40歳以上の特定保健指導事業の実施率の向上を図っていく。																
取組状況	<table border="1" data-bbox="414 436 502 1265"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	推進	推進	推進	推進	—	—	推進		
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	推進	推進	推進	推進	—	—	推進												
評価																			
今後の取組及び方向性																			
番号	71	事業名、数値目標実績 安全・安心な学校づくり ○県立高等学校施設耐震化率	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 県立高校は、その多くが災害時の避難場所に指定されており、地震発生時の生徒の安全確保はもろろんのこと、地域住民の応急避難場所としての役割を果たすことから、全ての学校施設の耐震化を計画的に推進する。 災害に強い安全な学校施設の整備、教育二一スに対応した良好な教育環境を提供するため、「県立学校耐震化計画」に基づき、県立学校施設の耐震化を計画的に推進した。 県立学校耐震診断等実施率（優先度調査を含む）は平成18年度までで100%となっており、平成22年度までの耐震改修実施校数（累計）は14校、改築実施校数は9校となっており、ほぼ順調に事業が行われている。																
事業目的																			
取組状況	 <table border="1" data-bbox="909 436 997 1265"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42%</td> <td>59%</td> <td>62%</td> <td>73%</td> <td>75.0%</td> <td>93.8%</td> <td>93.8%</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	42%	59%	62%	73%	75.0%	93.8%	93.8%	80%		
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
42%	59%	62%	73%	75.0%	93.8%	93.8%	80%												
評価			県立学校耐震化計画に基づき、耐震化事業を計画的に実施した結果、平成22年度末の耐震化率は約10ポイント角はして、73%となり、ほぼ計画目標を達成し、着実に耐震化を進めている。 文部科学省発表資料によると、平成23年4月1日現在の公立高等学校の全国平均耐震化率は78%で、徳島県は27位となっている。 県立学校再編の対象校については、今後、再編方針を考慮しながら耐震化事業を検討していく必要がある。																
今後の取組及び方向性		施設整備課	平成27年度の耐震化率100%に向けて、コスト削減を図りながら、耐震化と併せて施設の老朽化対策にも取り組む。																

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																		
72	安全・安心な学校づくり	安全・安心な学校づくり ○小・中学校施設耐震化率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成率</td> <td>41%</td> <td>55%</td> <td>64%</td> <td>77%</td> <td>82.0%</td> <td>96.5%</td> <td>96.5%</td> <td>85%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	達成率	41%	55%	64%	77%	82.0%	96.5%	96.5%	85%	事業目的 公立小中学校は、児童・生徒の安全確保に併せて、災害時の避難場所としての機能が求められていることから、全ての学校施設の耐震化を計画的に推進する。 取組状況 平成20年度に「公立小中学校施設耐震化緊急支援制度」を創設し、市町村の財政支援の軽減を図っている。また、耐震化工事における技術的な支援をする「市町村公共施設耐震化促進支援センター」との連携を図り耐震化の推進に努めている。 平成22年度での耐震化事業完了棟数は約120棟であり、ほぼ順調に事業が行われている。 評価 耐震化事業は計画的に実施されており、平成22年度75%の目標を達成した。 文部科学省発表資料によると、平成23年4月1日現在の公立小中学校の全国平均耐震化率は80%で、徳島県は20位となっている。 市町村間で耐震化率に差があり、耐震化完了の市町村がある一方で、遅れている市町村もある。 今後の取組及び方向性 平成27年度の耐震化率100%に向けて、耐震化が遅れている市町村については、個別に指導・助言を行う。また、児童生徒の減少により、休校・統廃合を検討している施設についても、連携を密にして対応していく。
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値													
達成率	41%	55%	64%	77%	82.0%	96.5%	96.5%	85%													
73	安全・安心な学校づくり	学校安全ボランティア(スクールガード)活動の充実 ○スクールガードリーダー数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成率</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>33</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>44</td> <td>59.1%</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	達成率	24	24	33	24	26	44	59.1%	44	事業目的 子どもたちが安全・安心して教育が受けられるよう、学校や通学路の子どもの安全確保を図るため、家庭や地域の関係機関・団体と連携を図りながら、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備する。 事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 学校安全ボランティア(スクールガード)の養成に努め、県内小学校校区で約1万人のスクールガードが登下校時の見守り活動を実施した。 取組状況 スクールガードの見守り活動により不審者情報は減少しているが、依然、報告はされており、見守り活動を強化していく必要がある。事業の補助事業化に伴い、市町村の財政的負担が必要となり、市町村独自の見守り体制で対応する市町村が増えてきた。 評価 スクールガードの委嘱主体が県から市町村となり、広域的な体制を整備するための市町村間の連携を強化する必要がある。スクールガードリーダーの増員に向けた働きかけを行うとともに、連絡協議会開催による県内情報共有やスクールガード養成講習会への協力等の支援を行う。
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値													
達成率	24	24	33	24	26	44	59.1%	44													

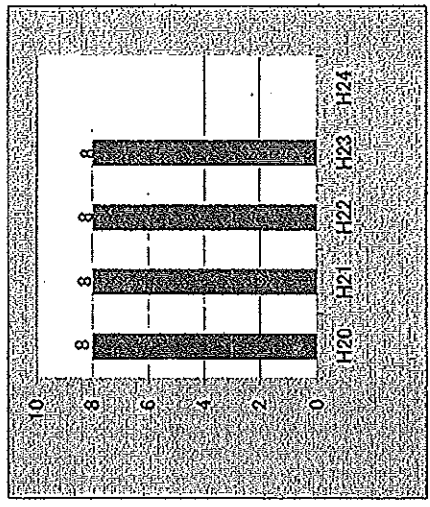
番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性														
74	安全・安心な学校づくり	防災教育の充実 ○防災教育推進モデル校数 <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th></tr> <tr><td>数値</td><td>18</td><td>21</td><td>24</td></tr> </table>	年度	H19	H20	H21	数値	18	21	24	事業目的 児童生徒の「自らの安全を守るための実践的防災対応能力の向上」と「災害時に互いに助け合うための防災ボランティア意識の向上」を目指して、児童生徒の発達段階や地域の特性に応じた防災教育の推進に取り組んできました。 取組状況 平成17年度から5年間、県下の小・中・高・特別支援学校24校を「防災教育推進モデル校」に指定し、「児童生徒一人ひとりの実践的防災対応能力の向上」と「災害時に互いに助け合うための防災ボランティア意識の向上」を目指して地域の特性に応じた防災教育に取り組み、防災意識の高揚や発災時の実践力の向上に大きな成果を上げてきた。 評価 児童生徒の防災意識はもとより、学校が核となり、地域と連携した「避難訓練」などの取組みが行われ、地域の防災意識が向上した。 今後の取組及び方向性 モデル校の取組みの成果を「学校防災研修会」での発表会を通して各校に広く紹介するとともにホームページにアップして各校の防災教育での活用を図る。						
年度	H19	H20	H21														
数値	18	21	24														
75	安全・安心な学校づくり	事業名、数値目標実績 防災教育の充実 学校と地域の自主防災組織等の連携を図る「あわ防災推進事業」の実施。	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 児童生徒の防災ボランティア意識を高め学校や地域の防災力を高めるため、各校が地域の自主防災組織と連携した防災教育を推進する。 事業目的 学校と地域が連携した防災教育の必要性を啓発するとともに、各校で実施する際の手引き書「地域とつなぐ防災教育」を活用し、県内の小・中・高・特別支援学校で防災教育に取り組んだ。 取組状況 <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><td>達成率</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>推進</td><td>推進</td><td>—</td></tr> </table> 評価 「児童一人ひとりの実践的防災能力の向上（自助）」と「災害時に互いに助け合うための防災ボランティア意識の向上（共助）」を目指して地域の特性に応じた防災教育を実践し、児童生徒のみならず、地域全体の防災力の向上に大きな効果があることが確認できた。 今後の取組及び方向性 各学校において、冊子「地域とつなぐ防災教育」を活用した防災教育の推進と充実を図るとともに「学校防災研修会」を開催し教職員の研修に努めるとともに、防災教育の担い手として教員の育成を図る。	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	—	—	—	推進	推進	—
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24											
達成率	—	—	—	推進	推進	—											

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
76	防災教育の充実 ○学校における防災教育の充実 安全・安心な学校づくり	<p>児童生徒の基礎的防災対応能力や防災ボランティア意識の向上を目指して、学校における防災教育を推進する。</p> <p>県内すべての小・中・高・特別支援学校で、各教科・道徳・特別支援活動全体を通じて計画的に防災教育を推進した。また、「学校防災研修会」を開催し、教員の研修に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>全小・中・高・特別支援学校で推進</td> <td>全小・中・高・特別支援学校で推進</td> <td>全小・中・高・特別支援学校で推進</td> <td>全小・中・高・特別支援学校で推進</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>全小・中・高・特別支援学校で推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>東日本大震災を受け、各学校においては、今まで以上に地域や学校の実情に応じた防災教育が行われた。</p> <p>発災時に、児童生徒が自らの安全確保はもとより、周りの人々や地域の安全のために何ができるのかを考え、実践できるよう、地域や関係機関と連携した取組みを進める。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	全小・中・高・特別支援学校で推進	全小・中・高・特別支援学校で推進	全小・中・高・特別支援学校で推進	全小・中・高・特別支援学校で推進	—	—	全小・中・高・特別支援学校で推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
—	全小・中・高・特別支援学校で推進	全小・中・高・特別支援学校で推進	全小・中・高・特別支援学校で推進	全小・中・高・特別支援学校で推進	—	—	全小・中・高・特別支援学校で推進											
77	防災教育の充実 ○県立学校における「防災クラブ」の設置  安全・安心な学校づくり	<p>高等学校に「防災クラブ」を置き、高校生が行う防災ボランティア活動や地域と連携した防災活動を推進するとともに、避難所支援ができる知識や技能を習得させ、地域防災の即戦力となる人材を育成する。</p> <p>連年被害の想定される沿岸地域の学校から5校を選出し、各学校では「防災クラブ」を設置し、地域や学校の状況に応じた取組を実施している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>50.0%</td> <td>H23新規</td> </tr> </tbody> </table> <p>避難訓練や炊き出しなど、地域を巻き込んだり活動や高齢者宅での家具転倒防止器具の設置など、将来の防災の担い手になれるような取り組みが行われている。こうした活動を通して、高校生の意識も上がってきている。</p> <p>今後、洪水や土砂災害が懸念される県東部や県西部の高校でも実施し、県内に拡大していく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	—	5	10	50.0%	H23新規
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
—	—	—	—	5	10	50.0%	H23新規											

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
78	教育の組織運営体制等の充実	教育の組織運営体制等の充実 ○副校長等の新たな職の設置	<p>新たな職の設置により、学校運営における権限と責任が明確化され、校長のリーダーシップのもとに、学校の抱える課題に対して迅速かつ的確で、組織的な対応を図る。</p> <p>多様化・複雑化した学校の課題に対応するため、副校長、主任教諭、指導教諭を配置した。</p> <p>○配置人数 小学校 7名 中学校 5名 県立学校 6名 主任教諭 18名 副校長 18名 指導教諭 42名 21名 36名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>設置</td> <td>設置</td> <td>設置</td> <td>設置</td> <td>設置</td> <td>—</td> <td>設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>新たな職を配置することにより、各学校の抱える課題に対して、校長を中心に組織的・機動的に対応する体制を整備するとともに、教員の資質・能力の向上を旨としたきめ細やかな校内研修等を推進することができた。その職に適した優秀な人材の任用と適切な配置が今後の課題である。</p> <p>新たな職の設置による学校の機能強化等の成果を踏まえ、校長のリーダーシップのもと、学校組織マネジメントのより一層の充実を図り、教員が子どもと向き合う時間を確保できるよう努めていく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	設置	設置	設置	設置	設置	—	設置
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	設置	設置	設置	設置	設置	—	設置												
		教職員課	<p>事業目的</p> <p>取組状況</p> <p>評価</p> <p>今後の取組及び方向性</p>																

基本方針4 人権尊重社会をめざす教育の実現

事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																	
<p>事業名、数値目標実績</p> <p>「あわ」人権学習ハンドブックの活用促進 ○「あわ」人権学習ハンドブックの活用促進と指導内容・指導方法の改善・充実</p>	<p>事業目的</p> <p>「あわ」人権学習ハンドブックは、「徳島県人権教育推進方針」に基づく具体的な人権教育を推進するための指導者用手引書として作成されており、より一層人権教育を推進していくために活用を促進する。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td>-</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価</p> <p>「あわ」人権学習ハンドブックは平成19年3月に作成されて6年目を迎える。現在、学校教育や社会教育における人権教育指導者への活用促進を、「人権教育の指導方法等のあり方について【第三次とりまとめ】」とともに進めており、これらを活用した実践的な取組が見られるようになった。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>引き続き、「あわ」人権学習ハンドブックや「人権教育の指導方法等のあり方について【第三次とりまとめ】」の積極的な活用を図り、学校教育及び社会教育の両面において推進方針に基づいた人権教育のより一層の充実・発展を図る。特に研究指定校における実践事例を広く紹介することで、さらなる活用促進を図り、指導内容や指導方法の改善・充実につなげる。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	推進	推進	推進	推進		-	推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値										
-	推進	推進	推進	推進		-	推進										
<p>事業名、数値目標実績</p> <p>人権教育研究校の指定 ○人権教育研究指定校</p>	<p>事業目的</p> <p>人権意識を培うための学校教育の在り方等について、幅広い観点から実践的な研究を行い、その成果の普及に努め、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実を図る。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>県指定 毎年度4校 文部科学省 指定 毎年度 4校</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価</p> <p>研究指定校においては、実践研究を深め、指導内容や指導方法の充実を図ることができた。また、教職員の人権意識の高揚を図るとともに、P.T.A研修の充実にもつなげることができた。研究発表会を開催し、「徳島県人権教育推進方針」及び「人権教育の指導方法等の在り方について【第三次とりまとめ】」に基づく人権教育の推進についての成果を県内外に広げることができた。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>21年度からホームページ上に研究指定校の研究内容を掲載し、広く県内外での実践に活用できるようにしている。今後とも、指定校における研究の充実に向けた支援に努めるとともに、様々な機会を捉えてその研究成果を広く、普及を図っていく。</p> <p>さらに、優れた実践を集約し、一括してホームページで紹介することにより、必要な資料を活用できるように、利便性のある情報提供を行い、各校における指導方法等の工夫改善につなげる。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	8	8	8	8		100.0%	県指定 毎年度4校 文部科学省 指定 毎年度 4校
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値										
-	8	8	8	8		100.0%	県指定 毎年度4校 文部科学省 指定 毎年度 4校										



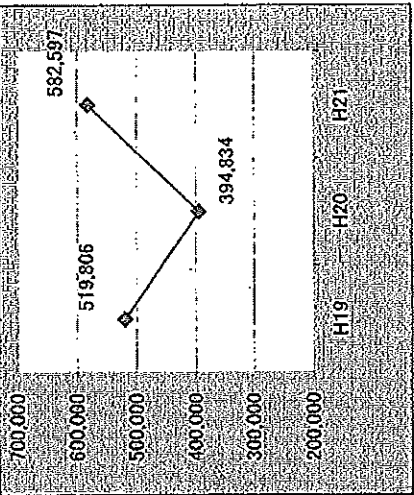
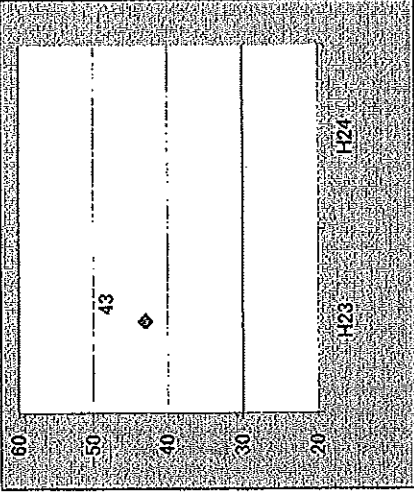
番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性
81	学校教育における人権教育の充実	児童生徒の自主的な活動の推進 ○ふれあい人権劇発表会への応募作品数(累計) 	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 人権尊重の精神をテーマとした劇や映像等の創作活動を通して、人権問題解決への実践意欲を促す。また、作品の資料化・教材化を行い、その活用を図ることによって人権意識の高揚に資する。 事業実施後3年を通過し、当初の目的に迫ることができたことと判断するとともに、事業予算の縮小もあり、本事業を終了することとした。本年度は、DVD作品の貸し出しを継続するとともに、学校訪問や各種研修会で人権劇の取組について紹介し、本事業の成果を県内に広め、各校での取組を推進する。 平成20～22年度の3年間で優秀作品に選ばれた25作品のDVDが貸し出し可能となり、県民啓発に活用することができるようになった。しかし、活用する学校が減っている。各学校等で有効に活用できるような工夫が必要である。 引き続き、これまでの成果を広く普及・広報し、各学校での取組を促す。本職所管の研修会や、学校訪問等を通じて、人権劇に関する情報提供等を行い、優秀作品等の活用を図る。
82	学校教育・社会教育における人権教育の充実	児童生徒の自主的な活動の推進 ○「心にひびく」とっておきのエピソードへの応募作品数(累計) 	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 事業名を「心にひびく」とっておきのエピソードプラス心一つに乗り越えよう東日本大震災」とし、日常生活における人との出会いや出来事の中で、人権問題の解決に向けた思いや、人権尊重の精神が態度や行動に現れたエピソードに加えて、東日本大震災をとおして感じたことや人とのつながりなど大切さを表現した作品を募集し、人権尊重の精神の継承を図る。また、その作品を人権教育・啓発資料に活用することにより、県民一人ひとりが人権を尊重するとはどういうことなのかを感じ取ることができ、人権が尊重される社会づくりに向けた態度や行動につなげていくことを目的とする。 人権尊重社会の実現に向けた取組として、家庭や学校、職場や地域などで自分自身が体験したことや人権尊重の思いにあふれたエピソード、特に23年度は東日本大震災をとおして感じたことや人と人とのつながりの大切さなどを表現したエピソードを作品として県内に広く募集した。また、その優れた作品をパネル等の資料にして、県内の様々な地域で行われる人権教育・啓発展で活用した。 県内各地より、幅広い層の世代から予想をはるかに超える応募があった。優秀作品については啓発用パネルや作品集にし、ヒューマンフェスタとくしくしま2011や「マナビ」とくしま2011や「マナビ」とくしま2011や「マナビ」とくしま2011やヒューマンフェスタ等、あらゆる機会において展示を行い、好評を得るとともに多くの感動を与えた。また、受賞作品のうち、東日本大震災関連の19作品をパネルにし、宮城県の子川第二小学校に贈呈し、児童生徒・教職員・女川町民の方にも作品を見ていただいた。 様々な機会を捉えてパネル貸出の案内や作品展示を県内各地で行い、さらに県民の人権意識の高揚を図り、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につなげるように努める。

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																		
83	<p>児童生徒の自主的な活動の推進</p> <p>○中・高生による人権交流会への参加者数(累計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>542</td> <td>1,047</td> <td>1,527</td> <td>2,050</td> <td>2,466</td> <td>3,000</td> <td>82.2%</td> <td>3,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	参加者数	542	1,047	1,527	2,050	2,466	3,000	82.2%	3,000	<p>事業目的</p> <p>中学校・高等学校及び特別支援学校の生徒が交流し、人権について語り合うことをとおして、人権教育の理念についての理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図り、様々な人権問題を解決する実践力を身につけた生徒を育てることを目的とする。</p> <p>取組状況</p> <p>中・高生が交流する中で、各ブロックで先進地研修等の自主的な活動を推進した。また、「中・高生による人権交流会」には404名の参加者があり、同和問題・芸術文化に関する人権講演の後、分科会・全体会においてそれぞれの自主的な活動の成果を発表・意見交換した。各ブロックの分科会の研究テーマは、同和問題・在日外国人・震災と人権であった。</p> <p>評価</p> <p>各ブロックの活動や交流会を通じ、中・高生の積極的な交流や意見交換及び研究活動が行われ、人権の意義やその重要性についての理解が深まるとともに、人権問題を鋭く見抜く感性の高まりが見られた。体験的参加型学習のなかで、守衛・人権クイズ、プレゼンテーションを活用するなど、人権意識の高揚と実践力の育成を図るうえで充実した活動内容となった。課題としては、交流会の参加者数が404名に止まり、参加校数も減少した。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>今後とも、各ブロックでの活動や先進地研修を重ねたうえで人権交流集会を実施し、人権について語り合うことを通じて、人権意識の高揚を図り、人権問題解決に向けた実践力を身につけた生徒の育成に努める。参加者数・参加校数については、事業内容の点検・評価を行い、生徒数の減少の中にあつて、中・高生が「中・高生による人権交流会」により参加しやすい内容・日程となるよう改善に努める。</p>
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
参加者数	542	1,047	1,527	2,050	2,466	3,000	82.2%	3,000												
84	<p>児童生徒の自主的な活動の推進</p> <p>○中・高生による人権交流会への参加者数(累計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>542</td> <td>1,047</td> <td>1,527</td> <td>2,050</td> <td>2,466</td> <td>3,000</td> <td>82.2%</td> <td>3,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	参加者数	542	1,047	1,527	2,050	2,466	3,000	82.2%	3,000	<p>事業目的</p> <p>同和問題をはじめ様々な人権問題の解決と識字学校相互の交流及び学校や社会教育団体等との交流活動を積極的に推進するとともに、社会啓発活動の促進を図ることを目的とする。</p> <p>取組状況</p> <p>生涯にわたる人権に関する学習機会の充実をめざし、5市1町16学区の識字学校が活動し、相互交流や学校・社会教育団体等との交流活動を実施した。学校・家庭・地域が一体となった人権教育を推進した。</p> <p>評価</p> <p>識字学校交流では、読み書き能力の向上を図り、社会生活に感応のできる能力を身につけるための学習にとどまらず、同和問題をはじめ様々な人権問題の解決へと広がりを持ち、積極的な交流活動を行うことができた。また、学校教育との交流も見られる。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>識字学校の交流活動については、引き続き、生涯にわたる学習機会への充実について支援を行い、その取り組みの充実を図っていく。また、人権問題の解決に向けて啓発活動を推進し、世代を超えた交流ができるよう支援する。</p>
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
参加者数	542	1,047	1,527	2,050	2,466	3,000	82.2%	3,000												

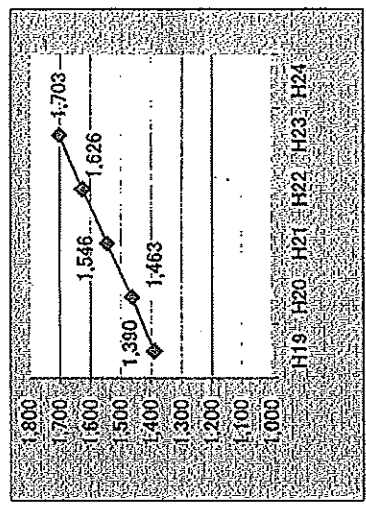
番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																		
85	社会教育における人権教育の充実	<p>生涯にわたる学習機会の充実</p> <p>○大学生の人権サークルと子どもたちとの交流を図る「あつたかハートつながり隊・ひろがり隊」の派遣回数(累計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣回数</td> <td>17</td> <td>27</td> <td>36</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>36</td> <td>119.4%</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	派遣回数	17	27	36	43	43	36	119.4%	36	<p>事業目的 人権の観点に立った活動をしている大学生のサークル等が、交流・活動するなかで青年層の人権意識の高揚を図り、「あつたかハートつながり隊・ひろがり隊」を組織し、各学校(園)等に派遣、活動することによって人権教育の推進に資する。</p> <p>取組状況 大学生のサークル等による青年の相互交流や研修会、青年と子どもたちとの交流を行った。大学との緊密な連携を図る中、4大学8サークルが幅広い要請に応じた交流活動を実施した。</p> <p>評価 人権の観点で活動しているサークルを、主に幼児・児童・児童の人権交流活動に派遣し、人権教育のより一層の充実を図るための活動ができた。要請は数多くあったが、サークルとの日程調整に苦感することがあった。実習との兼ね合い等により、十分活動できなかつたサークルもある。</p> <p>今後の取組及び方向性 目標数値の1年前倒しでの達成を踏まえ、24年度からは「あつたかハートつながり隊・ひろがり隊」事業をゼロ予算事業に衣替えしたところであり、これまでの総数を最大限活用して、大学サークルの相互交流と子どもたちとの交流の充実を努める。</p>
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値													
派遣回数	17	27	36	43	43	36	119.4%	36													
86	教員の指導力の向上	<p>指導者の養成と資質の向上</p> <p>○人権教育指導員の派遣回数(累計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣回数</td> <td>327</td> <td>722</td> <td>1,039</td> <td>1,349</td> <td>1,612</td> <td>89.6%</td> <td>1,800</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	達成率	目標値	派遣回数	327	722	1,039	1,349	1,612	89.6%	1,800	<p>事業目的 人権教育指導員を育成し、各学校及び市町村教育委員会等が主催する研修会等において指導助言を行うことにより、県民の人権意識の高揚を図り、もって徳島県人権教育推進方針に基づき人権教育を推進し人権尊重社会の実現に資する。</p> <p>取組状況 50名の徳島県人権教育指導員を選任し、各学校及び市町村教育委員会等が主催する研修会等において、個別人権課題や普遍的な視点についての指導助言を行った。より一層、様々な人権問題や今日的な課題に対応できるようにするために、指導員の入れ替えを行い、幅広い要望にも応じられる体制を整えた。</p> <p>評価 人権教育を推進する上で、各学校や市町村教育委員会からの制度活用へのニーズは高い。個別人権課題や普遍的な視点についての指導を行うことにより、人権教育の推進を図ることができた。ただし、需要のない指導員もあり、学校や市町村教育委員会に、可能な限り個別12課題を取り上げようように周知する必要がある。</p> <p>今後の取組及び方向性 より一層、様々な人権問題や今日的な課題に対応できる指導員の選定に心がけるとともに、幅広い研修の要望にも応えらる体制を整える必要がある。人権教育指導員の連絡会において、今日的な課題についての研修を加えるなどし、指導力の向上に努めるとともに、各指導員による研修内容の充実につなげる。</p>		
年度	H19	H20	H21	H22	H23	達成率	目標値														
派遣回数	327	722	1,039	1,349	1,612	89.6%	1,800														

番号 87	目標 社会教育における人権教育推進者の資質の向上	事業名、数値目標実績 指導者の養成と資質の向上 ○社会教育における人権教育推進者の養成数(累計)	<table border="1" data-bbox="311 1444 587 1926"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>養成数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>228</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>280</td> </tr> </tbody> </table>	年度	養成数	H19	51	H20	108	H21	171	H22	228	H23	280	H24	280	事業目的 徳島県人権教育推進方針に基づき、社会教育における人権教育の推進を図るため指導者の育成、確保等を総合的、体系的に図る指導者研修会を実施する。 取組状況 社会教育における人権教育を推進するため、市町村から推薦のあった推進担当者を対象として2日間の継続研修を実施した。人権教育推進方針や人権の視点でのまちづくりの講演、市町村における取組についての情報交換を行うとともに、体験的参加型による研修を行い、体験的参加型による研修の養成と資質向上を図った。 評価 アンケート結果から、概ね受講者のニーズに応じた研修内容であったと回答を得た。しかし、受講者が固定化する傾向にあり、より実践的な指導者を育成する必要がある。 今後の取組及び方向性 研修の成果をより深めることができるよう、参加者の出席についても引き続き働きかけ、体系的参加型研修を実施し、社会教育における人権教育推進者の資質の向上と計画的な推進者の確保につなげる。
年度	養成数																	
H19	51																	
H20	108																	
H21	171																	
H22	228																	
H23	280																	
H24	280																	

基本方針5 みんなが学べる生涯学習社会の実現

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																																												
88	多様な学習機会の提供	<p>生涯学習政策課</p> <p>事業名、数値目標実績</p> <p>「徳島県立総合大学校」の学習支援機能の充実 ○生涯学習情報システムへのアクセス件数</p>  <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>アクセス件数</th></tr> <tr><td>H19</td><td>519,806</td></tr> <tr><td>H20</td><td>394,834</td></tr> <tr><td>H21</td><td>582,597</td></tr> </table>	年度	アクセス件数	H19	519,806	H20	394,834	H21	582,597	<p>事業目的</p> <p>県と市町村、及び県内生涯学習関連施設等が連携し、収集した生涯学習情報をデータベースとして集積し、インターネットを利用して県民や市町村、生涯学習施設等に公開することにより、学習活動の支援と良質な生涯学習情報の提供を行う。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>達成率</th><th>目標値</th></tr> <tr><td></td><td>519,806</td><td>394,834</td><td>582,597</td><td></td><td></td><td></td><td>-</td><td>約80万件</td></tr> </table> <p>平成23年度(平成24年1月末現在)の閲覧ページ数は1,289,473ページであった。アクセス数を確保するために、広報リーフレットを作成したり、ツイッターを掲載し、月平均1.2万ページの閲覧があった。教については、親しみの持てるホームページとなるように、見やすい、分かりやすい、ものとなるように取り組んでいく。また、県の関係機関や市町村教育委員会等に直接働きかけ、広報の充実を図るとともに情報提供の協力を求めていく。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>事業目的</p> <p>県と市町村、及び県内生涯学習関連施設等が連携し、収集した生涯学習情報をデータベースとして集積し、インターネットを利用して県民や市町村、生涯学習施設等に公開することにより、学習活動の支援と良質な生涯学習情報の提供を行う。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>達成率</th><th>目標値</th></tr> <tr><td></td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>43</td><td></td><td>71.7%</td><td>H23新規</td></tr> </table> <p>平成23年度の指導者・団体新規登録者数は、43(個人が38人、団体が5団体)と数値目標を上回った。中でも、徳島県内の大学と徳島県教育委員会との連携に関する連絡協議会生涯学習ネットワーク部会での取組により、大学の教職員の新規登録者が10名おり、着実に登録者数が増加してきている。</p> <p>評価</p> <p>生涯学習の成果を還元していくために、講座受講者に新しい指導者としての登録を呼びかけていく。また、市町村との連携をさらに強化し、地域の指導者と団体・サークルの発掘を行い、新規登録者の増加を図っていく。</p>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値		519,806	394,834	582,597				-	約80万件	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値		-	-	-	-	43		71.7%	H23新規
年度	アクセス件数																																														
H19	519,806																																														
H20	394,834																																														
H21	582,597																																														
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																																							
	519,806	394,834	582,597				-	約80万件																																							
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																																							
	-	-	-	-	43		71.7%	H23新規																																							
89	多様な学習機会の提供	<p>生涯学習政策課</p> <p>事業名、数値目標実績</p> <p>「徳島県立総合大学校」の学習支援機能の充実 ○生涯学習情報システム指導者・団体新規登録者</p>  <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>登録者数</th></tr> <tr><td>H23</td><td>43</td></tr> <tr><td>H24</td><td>60</td></tr> </table>	年度	登録者数	H23	43	H24	60	<p>事業目的</p> <p>県と市町村、及び県内生涯学習関連施設等が連携し、収集した生涯学習情報をデータベースとして集積し、インターネットを利用して県民や市町村、生涯学習施設等に公開することにより、学習活動の支援と良質な生涯学習情報の提供を行う。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>達成率</th><th>目標値</th></tr> <tr><td></td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>43</td><td></td><td>71.7%</td><td>H23新規</td></tr> </table> <p>平成23年度の指導者・団体新規登録者数は、43(個人が38人、団体が5団体)と数値目標を上回った。中でも、徳島県内の大学と徳島県教育委員会との連携に関する連絡協議会生涯学習ネットワーク部会での取組により、大学の教職員の新規登録者が10名おり、着実に登録者数が増加してきている。</p> <p>評価</p> <p>生涯学習の成果を還元していくために、講座受講者に新しい指導者としての登録を呼びかけていく。また、市町村との連携をさらに強化し、地域の指導者と団体・サークルの発掘を行い、新規登録者の増加を図っていく。</p>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値		-	-	-	-	43		71.7%	H23新規																				
年度	登録者数																																														
H23	43																																														
H24	60																																														
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																																							
	-	-	-	-	43		71.7%	H23新規																																							

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
90	生涯学習推進体制の充実	人材の育成と有効活用 地域における生涯学習のリーダーの育成、地域に貢献できる人材の有効活用	<p>事業目的 県民に多様な学習機会を提供し、指導者の育成と個人のスキルアップを図っていく。そして、生涯学習で学んだ成果を社会で活用する機会を与え、個人の生きがい追究と地域教育力の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>取組状況 総合大学の講師や県民研究員として活躍する人材を「とくしま学博士」として9名認定した《企画総務部 県立総合大学校統括本部》 地域における生涯学習のリーダーの育成のために「女性のためのスキルアップ講座（女性地域教育推進者養成講座）」、「子どもとふれあう子育て講座（家庭教育支援者養成講座）」、「父親カルネササンス推進講座（父親家庭・地域教育推進者養成講座）」、「子どもと放課後のしみ隊講座（子どもの学びの場づくり）」「ダイナミック研修」を開催した。 受講者の中から、希望者を「徳島県生涯学習情報システム（まなびひろば）」の人材・指導者情報に登録することにより、県民の誰もが講師依頼をすることができるようにした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>創設 推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 参加者は講座受講、研修、体験学習を通じて自らのスキルアップをはかるとともに、地域における学習リーダーとしての資質を向上させることができた。</p> <p>今後の取組及び方向性 さらに各種講座の充実を図り、これらの講座で学んだ学習の成果を県民に還元していくため、受講者に「まなびひろば」人材バンク」の新規指導者として登録してもらえよう働きかけを行い、指導者の登録者数を増やしていく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	創設 推進	推進	推進	推進	—	—	推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	創設 推進	推進	推進	推進	—	—	推進												
91	学びの環境の充実	生涯学習政策課 事業名、数値目標実績 文化の森総合公園文化施設の機能充実 ○文化の森各文化施設入館者総数(累計)	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>事業目的 文化の森総合公園文化施設において、文化や芸術に直接触れ合う機会を創出し、多くの県民に足を運んでいただける新鮮で魅力ある事業を実施する。</p> <p>取組状況 常に新鮮で、より多くの県民に親しまれる魅力ある事業を実施するなど文化の森総合公園文化施設の機能充実を図った。 ・博物館 企画展 2回 特別陳列 1回 普及行事 71回 を開催 ・近代美術館 特別展 3回 普及行事 54回 を開催 アトムデビュー60周年企画「手塚治虫展」や、文化の森金館が一体となった「文化の森阿波おどりフェスタ」、「文化の森・大秋祭り」を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,390</td> <td>1,463</td> <td>1,546</td> <td>1,626</td> <td>1,703</td> <td>—</td> <td>94.6%</td> <td>1,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 昨年度は、文化の森開園20周年を記念して、年間を通じてさまざまな記念事業を開催した。それに比べると、今年度は全体的に事業数が少なくなったため、入館者数は減少となった。 しかしながら、県民参加型のチャレンジとくしま芸術祭など、さまざまな人たちに広く活動発表の場を提供することができた。</p> <p>今後の取組及び方向性 引き続き、県民に足を運んでいただけるような魅力的な企画事業・普及事業の開催に努め、さらに各館で趣向を凝らしたイベントの実施に取り組む。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	1,390	1,463	1,546	1,626	1,703	—	94.6%	1,800
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
1,390	1,463	1,546	1,626	1,703	—	94.6%	1,800												



文化の森興総局

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																																
92	学びの環境の充実	とくしまネットワーク図書館の構築 ○とくしまネットワーク図書館 文化の森振興総局 事業名、数値目標実績	<p>「とくしまネットワーク図書館」を構築することにより、県立図書館と市町村立図書館等の連携を一層強め、図書館利用者へのサービス向上や利便性向上を図り、地域格差のない図書館サービスを提供する。</p> <p>平成19年度から整備・推進していた、県民が「いつでもどこでも」必要な図書館サービスを受けることができる県立図書館を移した県下図書館の連携による「とくしまネットワーク図書館」システムを構築し、平成22年10月1日に運用を開始した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>構築</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>構築</td> </tr> </tbody> </table> <p>システムの運用により、自宅にいながら県立図書館の蔵書・予約ができ、予約した県立図書館の蔵書を最寄りの市町村立図書館等で受け取ることができるなど、地域格差のない図書館サービスを提供することができた。</p> <p>引き続き、市町村立図書館等と連携を密にしなが、システム利用促進に向けて取り組んでいく。</p> <p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>「とくしまネットワーク図書館」を構築することにより、県立図書館と市町村立図書館等の連携を一層強め、図書館利用者へのサービス向上や利便性向上を図り、地域格差のない図書館サービスを提供する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>63,365</td> <td>—</td> <td>90.5%</td> <td>70,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23新規</p> <p>市町村立図書館への協力貸出冊数 19,418冊 図書館未設置町への協力貸出冊数 1,282冊 県立学校への協力貸出冊数 2,319冊</p> <p>システムの運用により、自宅にいながら県立図書館の蔵書の検索・予約ができ、予約した県立図書館の蔵書を最寄りの市町村立図書館等で受け取ることができるようになり、昨年度に比べ、市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会への貸出冊数が増加した。</p> <p>引き続き、市町村立図書館等と連携を密にしなが、システム利用促進に向けて取り組んでいく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	推進	推進	構築	—	—	—	構築	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	—	63,365	—	90.5%	70,000
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																												
—	推進	推進	構築	—	—	—	構築																												
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																												
—	—	—	—	63,365	—	90.5%	70,000																												
93	学びの環境の充実	とくしまネットワーク図書館の構築 ○市町村立図書館への貸出冊数(累計) 文化の森振興総局 事業名、数値目標実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>70,000</th> <th>65,000</th> <th>60,000</th> <th>55,000</th> <th>50,000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>63,365</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>H23 H24</p> <p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>「とくしまネットワーク図書館」を構築することにより、県立図書館と市町村立図書館等の連携を一層強め、図書館利用者へのサービス向上や利便性向上を図り、地域格差のない図書館サービスを提供する。</p>	70,000	65,000	60,000	55,000	50,000	63,365																										
70,000	65,000	60,000	55,000	50,000																															
63,365																																			

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性												
94	学びの環境の充実	図書館機能の活用 ○図書館企画事業数(累計) <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>達成率</th><th>目標値</th></tr> <tr><td></td><td>190</td><td>253</td><td>280</td><td>90.4%</td><td>280</td></tr> </table>	年度	H22	H23	H24	達成率	目標値		190	253	280	90.4%	280	<p>事業目的</p> <p>県立図書館において、企画展示や関係機関との連携協力による共催事業を開催することにより、図書館から情報を発信し、図書館機能の幅広い活用を進める。</p> <p>取組状況</p> <p>放送大学と連携して毎月1回土曜日に「まなびの森」講演会の開催、平成23年7月～10月には和歌山県立図書館との交流企画展を実施した。また、おはなし会や企画展示など、図書館の情報発信力を高め、図書館の多角的な機能の活用を進めた。</p> <p>評価</p> <p>平成23年度の「まなびの森」講演会は564名、おはなし会は787名の参加があった。また、関係機関との連携協力により、県民が興味を持っていると思われるテーマや、時局にあったテーマで企画展示事業を実施することができた。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>平成24年度も引き続き、放送大学との共催事業「まなびの森」講演会、関西図書館との交流企画事業として京都府立図書館と共同企画展を実施する。図書館の情報発信力を高め、図書館の多角的な機能の活用促進に努める。</p>
年度	H22	H23	H24	達成率	目標値										
	190	253	280	90.4%	280										
95	郷土に根ざした学びの推進	博物館と学校との連携 ○学校の授業への講師派遣回数(累計) <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>達成率</th><th>目標値</th></tr> <tr><td></td><td>90</td><td>116</td><td>120</td><td>96.7%</td><td>120</td></tr> </table>	年度	H22	H23	H24	達成率	目標値		90	116	120	96.7%	120	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>学校への博物館資料の貸し出しや出前授業、博物館での授業、職場体験などを行うことにより、学校教育を支援し、博物館と学校との連携を進める。</p> <p>取組状況</p> <p>平成23年度は、学校からの依頼に応じて、学校での授業に学芸員を26回派遣した。学校での授業では、学芸員はティーム・ティーチングの手法により教員と協同し、持参した博物館資料を活用するなどとして児童・生徒の理解を助けるよう支援した。</p> <p>評価</p> <p>子どもたちが郷土の自然や歴史・文化に対して理解を深めることができるよう、学校での授業(教室外での観察会等を含む)に博物館学芸員を講師として派遣した。教員と共同して持参した博物館資料を活用することなどにより、児童・生徒が理解を深められるよう工夫した。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>博物館と学校が連携することにより、学校教育を支援し、博物館の持つ資源(もの・情報・人)とその活用方法を普及し、博物館利用者の増加につながるよう事業に取り組む。</p>
年度	H22	H23	H24	達成率	目標値										
	90	116	120	96.7%	120										

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																																
96	郷土に根ざした学びの推進	<p>県立鳥居記念博物館の移転・整備 ○県立鳥居龍蔵記念博物館</p> <p>文化の森振興総局 文化の森振興総局 事業名、数値目標実績</p>	<p>専門にあった鳥居記念博物館を文化の森内に移転し、各館の機能と融合させ、一層の相乗効果を発揮し、専任職員による整理・調査を進め、県民に親しまれる「鳥居龍蔵記念博物館」を目指す。</p> <p>鳥居龍蔵博士の功績を広く紹介するため、平成19年度から検討・開設準備を進めていた徳島県立鳥居龍蔵記念博物館が、平成22年11月3日に文化の森総合公園内に開館した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>整備</td> <td>整備</td> <td>開館</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>開館</td> </tr> </tbody> </table> <p>・徳島が生んだ世界的な人類学・考古学・民族学者である鳥居龍蔵博士を「鳥居龍蔵の見たアジア」「鳥居龍蔵の生涯」「鳥居龍蔵に学ぶ」の3つのゾーンで紹介し、説明パネルを手元に配置したり、照明器具にはLEDラベルを使用するなど、人にも環境にも優しい博物館が完成した。</p> <p>来館者の増加に向けて、小中学校の遠足での来館促進、文化の森全体及び博物館の行う展示室を活用したイベントなどに参加して活性化を図る。</p> <p>また、鳥居博士に関係する博物館や研究機関と連携し、資料調査等を行うミュージアムネットワークの形成に取り組みしていく。</p> <p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>鳥居博士に関する調査研究や展示の充実を図るため、九州国立博物館や国立民族学博物館などとの共同研究に取り組み、相互協力のためのネットワークを形成する。</p> <p>資料調査及び企画展準備に当たり、東京大学総合研究博物館、国立民族学博物館、関西大学博物館、院雨館（四国中央市）等との協力を図った。また、国立民族学博物館を通じて、国立台湾博物館との交流・連携にも着手した。</p> <p>館蔵資料の検討のため、京都大学や鹿児島県歴史資料センター黎明館、大韓民国慶尚大学校等の学芸員・研究者との交流を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> <td>60.0%</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23新規</p> <p>新たに国立台湾博物館や関西大学博物館等と連携することにより、これまでの東京大学総合研究博物館、国立民族学博物館を合わせ、連携機関が国内外に3機関以上となり、年度目標を達成することができた。また、その他の機関や、学芸員・研究者との交流も行われ、資料調査や展示にも活かすことができた。</p> <p>引き続き、東京大学総合研究博物館、国立民族学博物館、関西大学博物館所蔵関連資料の調査・活用を依頼する。また、鳥居博士の国内調査に関係する資料の検討のため、関係機関や研究者との交流に取り組む。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	整備	整備	開館			—	開館	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	2	3		60.0%	5
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																												
—	整備	整備	開館			—	開館																												
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																												
—	—	—	2	3		60.0%	5																												
97	郷土に根ざした学びの推進	<p>県立鳥居記念博物館の移転・整備 ○ミュージアムネットワーク連携機関数(累計)</p> <p>文化の森振興総局 文化の森振興総局 事業名、数値目標実績</p>	<p>資料調査及び企画展準備に当たり、東京大学総合研究博物館、国立民族学博物館、関西大学博物館、院雨館（四国中央市）等との協力を図った。また、国立民族学博物館を通じて、国立台湾博物館との交流・連携にも着手した。</p> <p>館蔵資料の検討のため、京都大学や鹿児島県歴史資料センター黎明館、大韓民国慶尚大学校等の学芸員・研究者との交流を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> <td>60.0%</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23新規</p> <p>新たに国立台湾博物館や関西大学博物館等と連携することにより、これまでの東京大学総合研究博物館、国立民族学博物館を合わせ、連携機関が国内外に3機関以上となり、年度目標を達成することができた。また、その他の機関や、学芸員・研究者との交流も行われ、資料調査や展示にも活かすことができた。</p> <p>引き続き、東京大学総合研究博物館、国立民族学博物館、関西大学博物館所蔵関連資料の調査・活用を依頼する。また、鳥居博士の国内調査に関係する資料の検討のため、関係機関や研究者との交流に取り組む。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	2	3		60.0%	5																
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																												
—	—	—	2	3		60.0%	5																												

基本方針6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
98	生涯スポーツの振興	生涯スポーツの推進 ○「徳島県スポーツ振興基本計画」の見直し	<p>「徳島県スポーツ振興基本計画」は平成16年度から平成22年度までの7年間を計画の基本として策定され、現行の計画が終期を迎えたために見直しすることとする。</p> <p>「徳島県スポーツ振興基本計画」の基礎となる文部科学省の「スポーツ振興基本計画」の見直し状況の情報収集に努めた。また、「徳島県スポーツ推進審議会」を11月に開催し、新しい計画の策定に向けて、審議した。</p> <table border="1"> <tr> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>達成率</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>見直し</td> <td>見直し</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>見直し</td> </tr> </table> <p>新たな「徳島県スポーツ推進計画(案)」を作成し、徳島県スポーツ推進審議会において審議した。</p> <p>国の「スポーツ振興基本計画」の改定に合わせて、県計画案に修正を加え、24年度中に新計画を策定する。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	-	見直し	見直し	-	-	見直し
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
-	-	-	見直し	見直し	-	-	見直し												
99	生涯スポーツの振興	生涯スポーツの推進 「とくしまスポーツ憲章」を制定し、スポーツに親しむ気運を醸成し、とくしまスポーツ王国づくりの実現を目指す	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>県民をあげて様々な形でスポーツに取り組みめる取組を整えることで、一人ひとりの健康や健全な社会づくりに役立つとともに、本県のスポーツ人口の増加や競技力の向上を図る。</p> <p>「とくしまスポーツ憲章」に則り、県民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、スポーツを通じて県民の元気を創造する「とくしまスポーツ王国づくり」の実現のため、県民スポーツの振興を図った。</p> <table border="1"> <tr> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>達成率</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>「とくしまスポーツ王国づくり」の実現を目指して制定した「とくしまスポーツ憲章」に則り、県民スポーツの振興を図った。</p> <p>今後も、憲章の趣旨をより一層県民に周知し、スポーツの普及振興を図る気運の醸成に努める。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	推進	推進	推進	推進	-	-	推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
-	推進	推進	推進	推進	-	-	推進												

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
(10)	生涯スポーツの振興	生涯スポーツの推進 ○総合型地域スポーツクラブの設立数 	<p>市民の誰もが、自分の体力などに応じて気軽に運動やスポーツに取り組めるよう、全ての市町村に総合型地域スポーツクラブを設立を目指す。</p> <p>未設置町に対して設立に向けた啓発事業や地域の関係者との意見交換を実施した。</p> <p>また、複数の総合型地域スポーツクラブの設立を目指す市町においては、クラブ育成アドバイザーを定期的に派遣するなど、設立に向け支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>25</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>32</td> <td></td> <td>114.3%</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p>未設置の2町（上勝町・幸崎町）に対しては、設立に向けての気運が高まっているが、既存のスポーツ団体との関係や施設の確保など多くの課題が残っている。</p> <p>また、複数のクラブの創設を目指す市町に対しては、平成23年度中の設立に向け順調に取り組みが進んでいる。</p> <p>未設置町の課題解決に向け、引き続き意見交換するとともに、新規クラブの設立に向け、取り組んでいく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	21	25	28	29	32		114.3%	28
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
21	25	28	29	32		114.3%	28												
		県民スポーツ課																	
番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
(10)	生涯スポーツの振興	生涯スポーツの推進 ○健康づくり実践プログラムの作成・推進	<p>総合型地域スポーツクラブにおいて、成人の生活習慣病予防や対策のための運動プログラムを実施し、その効果を検証する。</p> <p>「みんなのでつくろう！健康とくしま県民会議（運動と健康づくり専門部会）」において、昨年実施したプログラムの検証や一部修正を行い、更なる効果的なプログラムを作成するため、引き続き総合型地域スポーツクラブで実践した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>作成</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td>-</td> <td>作成</td> </tr> </tbody> </table> <p>運動プログラムの実施は、参加者の生活習慣病予防や改善に、大きな効果が出ているが、約6か月間の長期プログラムであるため、ドロップアウト者を減らす取り組みが必要である。</p> <p>運動プログラムを受けた参加者に対しては、継続して運動や健康づくりができるよう、総合型地域スポーツクラブ</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	作成	推進	推進		-	作成
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
-	-	作成	推進	推進		-	作成												
		県民スポーツ課																	

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
102	生涯スポーツの振興	生涯スポーツの推進 O「とくしまスポーツSHOWデー」実行委員会によるイベント等助成数 	<p>事業目的 県民のスポーツ実施率の向上と、健康づくりに取り組みることができる県民意識を高めることを目的とする。</p> <p>取組状況 団体等が自主的に企画、運営し、県民が広く参加できるスポーツイベントを提供する事業に助成を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>29</td> <td>49</td> <td>70</td> <td>90</td> <td></td> <td>112.5%</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23見直し</p> <p>評価 多様なスポーツイベント等に助成することで多くの県民が「するスポーツ」「みるスポーツ」に親しむことができ た。 また、「スポーツSHOWデー応援事業」として、全国大会等に出場する県代表選手やチームを応援するオ リジナルの横断幕等を貸し出しすることにより、幅広い観点からスポーツ振興を図ることができた。</p> <p>今後の取組及び方向性 今後の幅広いスポーツイベントに助成することで、多くの県民にスポーツの機会を提供し、スポーツ振興を 図って行く。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	10	29	49	70	90		112.5%	80
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
10	29	49	70	90		112.5%	80												
103	生涯スポーツの振興	県民スポーツ課 生涯スポーツの推進 鳴門渦潮高校をスポーツの拠点校として推進	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>事業目的 鳴門渦潮高校を、本県のスポーツ拠点として、生涯スポーツの担い手となる人材を育成する。</p> <p>取組状況 平成24年4月の鳴門渦潮高校の開校に向け、スポーツ拠点としての機能を充実させるため、鳴門教育大学と の高大連携をはじめとし、大学、県体育協会、各種競技団体との連携を図り、準備を進めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>準備</td> <td></td> <td>-</td> <td>開校・推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23新規</p> <p>評価 スポーツ拠点としての開校準備を着実に進めることができた。</p> <p>今後の取組及び方向性 県の新たなスポーツ拠点として、大学、県体育協会、各種競技団体等と連携し、鳴門渦潮高校の生徒のみなら ず、広く県下の小学生・中学生・高校生・高校生の一般の選手を対象としたスポーツ科学分析機器を活用した科学的な サポートや、セミナー・講習会等を開催することにより、生涯スポーツの担い手となる人材を育成していく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	-	-	準備		-	開校・推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
-	-	-	-	準備		-	開校・推進												

番号	事業名、数値目標実績	事業目的	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
104	<p>競技力向上対策の推進 国民体育大会天皇杯順位</p> <p>競技スポーツの振興</p>	<p>事業目的 中長期的にジュニア選手の競技力向上を図るため、県体協、県教委及び競技団体との連携を密に図り、発達段階に応じた「一貫指導システム」の構築と「トップ指導者の養成」を目指す。</p> <p>取組状況 平成21年度から「徳島育ち競技力向上プロジェクト」を開始しており、県体育協会や県教委との連携を強化し、優れた素質を持つジュニア選手の発掘からトップアスリートまで切れ目のない強化体制を構築するため、「競技者育成プログラム」の普及及び一貫指導を実施する体制の整備を着実に図っている。本年度は、22の競技団体が「育成プログラム」を普及・実践した。</p> <p>評価 競技団体の「一貫指導体制づくり」に取り組み姿勢が、前向きになり、それぞれの発達段階における指導者が連携し、高い専門性を発揮し、計画的に指導する環境づくりに取り組むようになってきた。また、選手の競技力向上のため、個別的に、ドクターやトレーナーや、及び栄養士等によるサポートや、メンタルトレーニング等に対する積極的な研修が行われた。課題としては、組織力や運営能力が未成熟な競技団体を継続的に育成・支援することにより競技力の底上げを図りながら、競技団体と連携・協働していくことが必要である。</p> <p>今後の取組及び方向性 競技スポーツ重点強化対策事業や、「徳島育ち競技力向上プロジェクト」を推進することにより、国体成績の向上を目指す。平成23年度に創設した「スポーツ王国とくしま推進基金」を効果的に活用し、団体の順位向上のための「がんばれば国体チャレンジ事業」や「スポーツリーダー養成事業」等を積極的に推進していくことと、さらなる競技力向上を図っていく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47</td> <td>43</td> <td>40</td> <td>44</td> <td>47</td> <td></td> <td>—</td> <td>30位台</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23見直し</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	47	43	40	44	47		—	30位台
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
47	43	40	44	47		—	30位台												
105	<p>競技力向上対策の推進 〇中学校と高等学校の連携による競技力向上連携ゾーン数</p> <p>競技スポーツの振興</p>	<p>事業目的 スポーツ指定校と周辺の中学校が連携を密にし、トレーニング法や食に関する指導等を学ぶとともに、指定校の活動拠点等を核として、技術指導等の連携を図ることにより一貫した競技力の向上を図る。</p> <p>取組状況 平成19年度から「競技力向上スポーツ指定校等を核とした競技力向上のための中学・高校連携ゾーン」に取り組み、各地域の特性を生かして競技普及・競技力向上に資する環境整備を推進し、数値目標の16ゾーンを達成した。</p> <p>評価 指定校と中学校との関係の緊密化等により、中学生の技術力向上が図られるとともに、高等学校では、高校総体等全国大会での入賞者数が増えた。中学校・高校スポーツの競技力向上が着実に図られた。</p> <p>今後の取組及び方向性 事業は平成22年度で終了したが、平成23年度からも引き続き競技力向上スポーツ指定校が中心となり、地域の中学校との連携を図り、指導者と生徒が互いに交流し、中学校・高校の競技力向上を目指す。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	1	5	13	16			100.0%	16
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
1	5	13	16			100.0%	16												

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
106	競技スポーツの振興	競技力向上対策の推進 ○全国高等学校総合体育大会の入賞(団体・個人)数 	<p>23年度より「競技力向上スポーツ指定校ステッピング事業」を開始した。本事業は、全国大会で活躍できる運動部を育成するとともに、指定校を核とした活動を支援することにより高校スポーツの競技力向上を図ることを目的としている。また、競技スポーツ重点強化対策事業として、指定校以外の有望選手に対する活動費の補助を行っている。</p> <p>23年度は23校32部を指定し、①遠征・合宿等のための強化費の補助②指導者の適正配置③入学者選抜の特色選抜で募集人数を定めること等により、指定校の強化活動を支援している。さらに、指定校生以外に有望選手に対しては、競技スポーツ重点強化対策事業として、県選抜チームの強化活動の推進を行っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>—</td> <td>58.3%</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23新規</p> <p>団体競技で、3年連続で全国上位入賞する競技が出てきたり、個人でも上位入賞者が出ている。ただ、入賞者数は21・22年度ともに2桁の入賞者数であったが、本年度は減少し、1桁になった。特に、団体の入賞者数が減っている。</p> <p>「競技力向上スポーツ指定校ステッピング事業」がより有効に機能するよう、評価委員会の評価を生かし、補助金に成果主義を取り入れるなど、団体競技の育成に努める。また、県民スポーツ課や県体育協会と連携し、指導者の指導力向上や選手の競技力向上を図る。さらに、中学校や地域との連携を図り、底辺の拡大や競技力の向上に努める。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	10	7	—	58.3%	12
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	—	—	10	7	—	58.3%	12												
107	競技スポーツの振興	競技力向上対策の推進 鳴門渦潮高校の設置 教育改革課	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>鳴門渦潮高校の施設・設備の整備により、スポーツ拠点としての機能充実を図り、県全体の競技力向上に繋げる。</p> <p>専門的で効果的な教育設備として、「3次元画像動作解析システム」「トレーニング機器」を整備した。また教育環境として、第2グラウンドの人工芝敷設及びクワアハウスを整備するとともに、第2体育館（仮称）の改築に係る設計に着手した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>整備</td> <td>整備</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>開校・整備</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23新規</p> <p>施設・設備の整備を着実に進めることができた。</p> <p>県の新たなスポーツ拠点として、大学、県体育協会、各種競技団体等と連携し、スポーツ科学分析機器を活用した科学的なサポートの実施やセミナー・講習会等の開催により、国体・インターハイ等の全国大会で活躍できる選手並びに将来のスポーツ指導者の育成を図っていく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	整備	整備	—	—	開校・整備
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	—	—	整備	整備	—	—	開校・整備												

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
108	競技スポーツの振興 〇徳島県スポーツ賞の推進	<p>事業目的 平成19年度から競技力向上スポーツ指定校等を各とした全国大会や、国際大会において、優秀な成績を挙げ本県スポーツの向上発展に貢献された選手や指導者、団体等の功績を称えらるることも、これを通して本県スポーツの発展の一助を期することを目的とする。</p> <p>取組状況 平成20年度に「徳島県スポーツ賞」を創設した。毎年3月に「表彰式」を実施することとし、ボカリスエツトスタジアム正面玄関内に「グランプリロード」を設け、グランプリ賞受賞者の功績を称えることとしている。今年度は、平成24年3月11日の徳島ヴォルティスホームゲーム前に表彰式を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>創設</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>創設・推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 全国大会等や国際大会で活躍した本県選手を表彰し、その功績を広く県民に周知することにより、県民全体のスポーツ活動への関心や気運を醸成し、ひいては競技力の向上の一助となった。</p> <p>今後の取組及び方向性 受賞者の功績を広く県民に広報できるように、マスコミはもとより、ホームページ等を活用していく。また、県民の新たな活動意欲を喚起し、一人ひとりのライフステージに応じたスポーツライフの充実に向けていく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	創設	推進	推進	推進	-	-	創設・推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
-	創設	推進	推進	推進	-	-	創設・推進											
109	文化遺産の発掘と継承 〇文化財マイスター修了生数(累計)	<p>事業目的 徳島県内在住の建築有資格者を対象に歴史的建造物や文化財保護についての専門的な講義や演習等を実施し、文化財建造物の調査・修理・まちづくり等に参画できる専門技術者を養成する。</p> <p>取組状況 平成22年度までの講座で、目標を上回る72名の建築士が修了した。県は、平成22年度から24年度まで近代和風建築総合調査を実施し、修了生で組織する「とくしま文化財マイスター一連絡協議会」に調査を委託している。また、県は市町村教育委員会に対し、建造物の指定・登録申請に文化財マイスターを活用するよう働きかけている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18</td> <td>32</td> <td>72</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>120.0%</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 マイスターの協力により、23年度は33件の近代和風建築総合調査の詳細調査が実施できた。また、登録有形文化財(建造物)が8棟増加した。</p> <p>今後の取組及び方向性 近代和風建築総合調査は平成24年度までの予定であり、調査が円滑に進むよう、「とくしま文化財マイスター一連絡協議会」との連携を図る。また、市町村教育委員会がマイスターの知識を活用して文化財建造物の保存活用を図るよう、働きかける。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	18	32	72				120.0%	60
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
18	32	72				120.0%	60											

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
110	文化遺産の発掘と継承	文化財の保護・保存と活用 ○「発見！ふるさとの伝統文化」受講者数 	<p>事業目的 県内各地に残る「民俗芸能」や「伝統の技」の魅力や価値を、総合的かつ分かりやすく伝えるために、保存団体を協働して講演会や体験教室、現地講座などを実施する。これにより、伝統文化を広く県民に周知し、保存活動の活性化を図るとともに、確かな伝承の基盤形成を図る。</p> <p>取組状況 国が平成23年度に「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」を新設したことに伴い、事業は平成22年度で終了した。代わって、「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」を活用し、「徳島県地域伝統文化総合活性化プラン」事業の中で伝承者育成や普及啓発を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>134</td> <td>330</td> <td></td> <td></td> <td>165.0%</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 重要無形民俗文化財阿波人形浄瑠璃の伝承者育成を目的に、「阿波人形浄瑠璃伝承教室」を13日間開催し、37名が受講した。また、「あわ民俗芸能フォーラム」では、民俗芸能の上演と講演・パネルディスカッションを行い、約300名の参加者があった。</p> <p>今後の取組及び方向性 平成23年度から25年度までの間、「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」を活用し、「徳島県地域伝統文化総合活性化計画」策定事業を実施する。その中で、県内の祭礼・年中行事等の調査を行うとともに、県民参加の講座等を開催し、伝統文化を活かした地域づくりのあり方を、徳島県伝統文化総合活性化計画として策定する。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	134	330			165.0%	200
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	—	134	330			165.0%	200												
111	文化遺産の発掘と継承	教育文化政策課 事業名、数値目標実績 文化財の保護・保存と活用 各地域の保存団体が実施する体験教室など地域の子どもたちを対象とする伝統芸能への取組を支援し、伝統芸能の継承を推進	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 地域における伝統文化の体験活動を支援し、子どもたちが伝統文化にふれる機会を充実させることにより、地域住民と子どもたちの交流の機会を作り、地域における子育て力を育むとともに、地域コミュニティの活性化を図る。</p> <p>事業目的 子ども伝統文化体験活動支援事業により、平成22年度は伝統文化の体験活動を実施するために必要な用具等の購入や修理を支援した。平成23年度は、22年度に支援した団体を中心に、34団体に12,945千円を補助した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td>—</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>取組状況 23年度は伝統文化の体験活動の実施を支援できた。2カ年間、計画的に事業を実施できた。</p> <p>評価 事業は「地域子育て創生費補助金」を活用して実施したが、同補助金は平成23年度限りとなる見込みである。このため、子どもたちを対象とした伝統芸能の継承支援については、他の方策を考えていく必要がある。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	推進	推進		—	推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	—	—	推進	推進		—	推進												

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性														
112	文化遺産の発掘と継承	文化財の保護・保存と活用 ○国指定文化財(史跡含む)の指定選定数 <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><th>指定選定数</th><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>12</td><td>13</td></tr> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	指定選定数	9	10	11	12	12	13	事業目的 国指定文化財を保全し、活用する取り組みを推進するなかで、地域の活性化を図る。 取組状況 歴史的景観を保全し、地域の活性化を図るため、国史跡指定や重要文化的景観の選定に向け、文化庁・市町村との調整を行った。 阿波瀬路道については、平成22年8月5日付けで、国指定された。 一方、鳴門市は平成22年度に、鳴門・板野古墳群、平成23年度に板東俘虜収容所跡の指定申請に向け、取り組みを進めてきた。しかし、国の指導により、鳴門・板野古墳群、板東俘虜収容所跡は平成25年度以降に申請を遅らせることとなった。 また、国指定史跡の新たな候補地の選定作業を進めている。	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 阿波瀬路道については、計画どおり実現できた。一方、鳴門市は、2つの遺跡の国指定に向けた取組を同時に進めてきたことから、遅れが生じている。 鳴門・板野古墳群については、鳴門市が総務省の刊行や境界確定のための測量調査等を行った。板東俘虜収容所跡についても、鳴門市が確認調査を進めている。県としては、鳴門・板野古墳群、板東俘虜収容所跡も平成25年度以降できるだけ早い時期に申請できるように、調整に努める。 他の文化財(史跡含む)についても、国指定・選定に向けて、今後とも文化庁との調整等に努める。
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24												
指定選定数	9	10	11	12	12	13												
113	文化遺産の発掘と継承	文化財の保護・保存と活用 ○勝瑞城跡整備面積 <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><th>整備面積</th><td>0</td><td>0</td><td>263</td><td>5,150</td><td>10,000</td><td>20,000</td></tr> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	整備面積	0	0	263	5,150	10,000	20,000	事業目的 徳島を代表する歴史文化遺産である「勝瑞城跡」の整備事業を、国・県・市の役割分担に基づき支援する。 取組状況 国史跡「勝瑞城跡」のうち、平成13年に指定された会所跡・枯山水庭園を中心とする区域の史跡整備について、整備検討委員会が作成した年次計画に基づき、平成23年度は、昨年引き続き、会所跡・墓跡整備を実施した。 また、仮設のガイダンス施設を設置した。	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 整備については、目標面積には達していないが、25年度の公開に向けて、計画どおり進捗している。藍住町の取り組みにより、会所跡・墓跡整備については、計画前倒しで整備することができた。 今後の整備については、効率も良くなることが予想される。現段階では、予定どおり進捗している状態であり、平成23年度に東森の整備工等を行い、会所跡・枯山水庭園区域を史跡公園として公開予定であり、平成24・25年度には、礎石建物跡の整備を実施予定である。
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24												
整備面積	0	0	263	5,150	10,000	20,000												

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																		
114	文化遺産の発掘と継承	<p>「いにしえ夢街道」の構築 ○文化財ボランティア養成人数(累計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>63</td> <td>86</td> <td>107</td> <td>125</td> <td>139</td> <td>165</td> <td>84.2%</td> <td>165</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	人数	63	86	107	125	139	165	84.2%	165	<p>事業目的 国指定史跡や周辺の文化財をつなぎ合わせて、各地の博物館・資料館と連携しながら、文化財を活かした地域づくりを進める。</p> <p>取組状況 文化遺産の保存・活用の担い手となる各地域のボランティア候補者を、国史跡の整備を進める市町村を中心に県内から募集し、実践的な内容の講座を実施した。 平成23年度は年間8回の講座を実施し、19名が終了予定。</p> <p>評価 修生の人数は見込よりも少ないが、各地の文化財保護・活用団体で活動をはじめている。また、県民の参画・協働により文化財の活用を図るため設置した「いにしえ夢街道県民会議」の委員として活動した方もいるなど、一定の成果を上げている。</p> <p>今後の取組及び方向性 ボランティアの養成については、関係市町村、公益財団法人徳島県理藤文化財センターとも協力していく。また、修了生に地元での文化財保護・活用団体の活動での史跡案内やイベント企画などへの参加を促し、市町村と連携した取り組みを支援することにより、活動の充実を図る。</p>
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値													
人数	63	86	107	125	139	165	84.2%	165													
115	文化遺産の発掘と継承	<p>「いにしえ夢街道」の構築 ○アワコウ音楽マイスター参加者数(累計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>82</td> <td>112</td> <td>121</td> <td>221</td> <td>138.1%</td> <td>160</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	達成率	目標値	人数	82	112	121	221	138.1%	160	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 国指定史跡や周辺の文化財をつなぎ合わせて、各地の博物館・資料館と連携しながら、文化財を活かした地域づくりを進める。</p> <p>取組状況 理藤文化財に関する体験講座を、児童生徒や保護者を中心に実施した。平成23年度は、センター見学会やその他の体験学習会に約150名が(保護者含む)参加した。</p> <p>評価 実施内容について、参加者のニーズに添えるべく、工夫改善しながら取り組み、体験講座には、定員いっぱいでの参加があった。参加者からの評価も良好である。</p> <p>今後の取組及び方向性 今後については、体験活動や見学会など、気軽に参加できる内容の講座を検討し、次計画に継続していく。定員いっぱいの参加希望があったため、定員枠を広げる等についても、検討していく予定である。</p>				
年度	H19	H20	H21	H22	達成率	目標値															
人数	82	112	121	221	138.1%	160															

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性														
116	<p>事業名、数値目標実績</p> <p>「いにしえ夢街道」の構築</p> <p>〇いにしえ夢街道活用ゾーン数(累計)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>ゾーン数</th></tr> <tr><td>H22</td><td>4</td></tr> <tr><td>H23</td><td>4</td></tr> <tr><td>H24</td><td>6</td></tr> </table>	年度	ゾーン数	H22	4	H23	4	H24	6	<p>事業目的 国指定史跡や周辺の文化財をつなぎ合わせて、各地の博物館・資料館と連携しながら、文化財を活かした地域づくりを進める。</p> <p>取組状況 平成18年度より、いにしえ夢街道推進事業に取り組んできた。平成22年度までに、国指定史跡を中心とする4箇所のゾーン化をはかることができた。平成23年度は4ゾーンの以外の県西部、県南部地区でのゾーン化に取り組んでいる。</p> <p>評価 新たなゾーンとして、県西部では丹田古墳を中心とした鑑賞会や現地説明会を、県南部では阿南市の通路道(太郎寺道、かも道)でのウォーキングやミニ二庭談会を実施し、ゾーン化に向けての準備を行っている。</p> <p>今後の取組及び方向性 広報等で情報発信し、「いにしえ夢街道推進事業」の一層の周知をはかるとともに、県民の参加参加を促すとともに、新ゾーンの設定に取り組み、県民がふるさと徳島の歴史を再発見し、郷土を愛する心の育成を図る。</p>						
年度	ゾーン数															
H22	4															
H23	4															
H24	6															
117	<p>事業名、数値目標実績</p> <p>学校への芸術家等派遣の推進</p> <p>〇学校への芸術家等派遣回数(累計)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>派遣回数</th></tr> <tr><td>H19</td><td>132</td></tr> <tr><td>H20</td><td>204</td></tr> <tr><td>H21</td><td>282</td></tr> <tr><td>H22</td><td>357</td></tr> <tr><td>H23</td><td>481</td></tr> <tr><td>H24</td><td>400</td></tr> </table>	年度	派遣回数	H19	132	H20	204	H21	282	H22	357	H23	481	H24	400	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>事業目的 学校において、美術や音楽などの優れた芸術作品に触れる機会を充実するとともに、自主的に芸術文化活動に取り組むことのできる環境を整える。その結果、児童・生徒の心に潤いと、元気の源を与え、豊かな感性と情眼を養う。</p> <p>取組状況 文化庁の「次代を担う子ども文化芸術体験事業-派遣事業-」や「同事業-巡回公演事業-」、日本児童劇協会による「児童劇地方巡回公演」等や県の事業を活用し、小・中・高・特別支援学校に芸術家等を派遣し、講話や実技披露を行った。今年度、学校と芸術家をつなげるための人材バンクを創設し、学校に周知することによって派遣回数が40回増えた。</p> <p>評価 事業の周知や伝統文化に関する学習の推進により、実施回数が増加しており、優れた芸術文化に触れる機会が図られている。</p> <p>今後の取組及び方向性 特定の学校が事業を希望する傾向があったが、人材バンクの周知と活用を促めることで、従来より派遣を希望する新しい学校が増え、派遣分野も広がった。一層の事業周知を図り、より多くの学校から本事業の活用希望が出るよう働きかける。さらに、人材バンクの充実と活用を促すことで、児童・生徒の文化活動のより一層の充実を図る。</p>
年度	派遣回数															
H19	132															
H20	204															
H21	282															
H22	357															
H23	481															
H24	400															

番号	118	学校における芸術文化活動の推進
目標	事業名、数値目標実績 高等学校総合文化祭の開催・参加 ○近畿高等学校総合文化祭への参加	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性
事業目的	近畿各府県の高校生による芸術文化活動の総合的な発表会に高校生を参加させることにより、生徒相互の交流と研鑽を深めるとともに、心豊かな人間性の育成をめざす。	近畿各府県の高校生による芸術文化活動の総合的な発表会に高校生を参加させることにより、生徒相互の交流と研鑽を深めるとともに、心豊かな人間性の育成をめざす。
取組状況	平成23年11月19日から27日の間、滋賀県で第31回近畿高等学校総合文化祭が開催された。総合開会式をはじめ合唱、器楽、マーチング、パトントワリング、日本音楽、演劇、美術・工業、書道、写真、放送、囲碁、将棋、新聞・小倉百人一首かるた部門に高校生が参加し、日ごろの芸術文化活動の成果を発表した。	平成23年11月19日から27日の間、滋賀県で第31回近畿高等学校総合文化祭が開催された。総合開会式をはじめ合唱、器楽、マーチング、パトントワリング、日本音楽、演劇、美術・工業、書道、写真、放送、囲碁、将棋、新聞・小倉百人一首かるた部門に高校生が参加し、日ごろの芸術文化活動の成果を発表した。
評価	近畿高等学校総合文化祭に本校の高校生を参加させることにより、各地域の伝統文化の継承や新しい芸術文化の創造に直接関わるなど、高等学校等における文化部活動の活性化が図られた。参加にあたり、専門的な指導技術を持たない顧問教員がいる部の生徒に対しては、外部の指導者から技術的な指導を受ける機会が求められている。	近畿高等学校総合文化祭に本校の高校生を参加させることにより、各地域の伝統文化の継承や新しい芸術文化の創造に直接関わるなど、高等学校等における文化部活動の活性化が図られた。参加にあたり、専門的な指導技術を持たない顧問教員がいる部の生徒に対しては、外部の指導者から技術的な指導を受ける機会が求められている。
今後の取組及び方向性	各部門における技術向上や発表機会の充実を図るため、徳島県高等学校文化連盟と連携し、派遣事業を実施する。人材バンクの活用など外部講師による指導を受ける機会を充実させ、生徒の技術の向上を図る。	各部門における技術向上や発表機会の充実を図るため、徳島県高等学校文化連盟と連携し、派遣事業を実施する。人材バンクの活用など外部講師による指導を受ける機会を充実させ、生徒の技術の向上を図る。